

愛知のうたごえ協議会ニュース

TEL 052-351-2618 FAX 052-355-7035

愛知のうたごえ 

2025.11.16 No.7



愛知のうたごえまなぼ企画 創造シンポジウムの報告

愛知のうたごえ「創造シンポジウム」レポート

藤村記一郎（愛知のうたごえ創造委員会）



日本のうたごえ全国協議会では、毎年、合唱発表会の講評委員の方々に集まつていただき座談会を開催、季刊「日本のうたごえ」誌にその発言が掲載されます。愛知でもそのような発想でやってみようといふことで、愛知の合唱発表会、創作発表会を終えたタイミングで、そのときの各団体の演奏をすべて聞いていただき合唱指揮者や講評委員の皆さんにパネラーになっていただき創造シンポジウムを開催しました。目的は、愛知のうたごえ各団体の演奏から、うたごえの現状や課題を明らかにして、進むべき方向性を明らかにしていこうということです。

初めての企画でしたが、午前にシンポジウム、午後は日本のうたごえ祭典大音楽会の「女性合同」（本番指揮者、山本恵造さんを迎えて）と「全国合同」（鳴海卓指揮）の合同練習会をセットし、トータル68名の参加でした。シンポジウムの全貌が、次の「季刊日本のうたごえ」誌に掲載されるという直前の連絡もあり、活字で全国の方々の目に触れるということで、盛り上がりと一種の緊張感がありました。

パネラーは関西合唱団指揮者の山本恵造さん、名古屋青年合唱団指揮者の鳴海卓さん、東三河のカネト合唱団やたけのこ合唱団を指揮する小杉真知子さん、親と子のみどりの杜合唱団で指揮をする若手代表の長江真弥さんの4人にお願いして、私が司会進行しました。

9月の愛知の合唱発表会の感想から始まり、うたごえの合唱の魅力や創作活動の意義、魅力的な演奏をするために何が必要か、合唱発表会の在り方や課題、同じような合唱運動をする合唱連盟とのかかわり、運動を次世代に引き継いでいくために何ができるか、ほか、ご自身の経験や歩みも語りながら、大変率直な意見交換が実現しました。

会場からも質問や要望も出され、2時間はあっという間で、休憩もとらずに時間超過で終わりました。日頃、そういうテーマで正面から切り込みながら話すことは少ないので、あらためて、パネラーのみなさんの深い思いや見識に感動しています。

参加者からは、「指揮の先生方の1人1人の言葉に、長年うたごえをやってきて、目の前でのできごとに翻弄されて光を失っている自分にあらためて気づかされました。年をとってどこまでやっていけるか、自分の合唱団に不安を持ったりしていましたが、そんな不安もとりのぞけました。」（刈谷親バト 燐勝寿美子）ほか、もっと話を聞きたい、という要望も。また、違うパネラーの方にも登場していただき、続きをやれたらいいなあ、などと思いました。

愛知のうたごえ第2回代表者懇談会を開催しました。

11月9日東海音楽センターにて、2025年第2回代表者懇談会（代表者会議）を開催、22団体から会場23名Zoom2名の計25名が参加。

冒頭は参加者の自己紹介と、愛知のうたごえSDGS5に取り組んで3年目、会員増となった特徴的な団体からの取組みの状況報告がありました。その中では、会員の減少の中、仲間を増やすために夜から昼へ練習時間の変更、置きチラシをしたら仲間が増えた、職場では組合活動を通して仲間作りを意識的に行っている団体、例会でうたごえ運動の理論学習を行うなどの報告がありました。

【合唱発表会運動について】◇2025年は全国協に習って交流の部のリハーサルを行わないことを決め進めてきたが、合唱の立ち位置、音の響き、広がり、ピアニストのピアノの感覚等で疑問が出されている。又、演奏時間6分30秒についても時間内に収めるために曲の一部カット等をしているので演奏時間の延長要望が出されている。◇リハ時間以外での屋外での練習について。a お互いの演奏を聴き合うことを重視する。

◇6分30秒の時間制限について

a 演奏時間については、全国的にも課題となっているので、今後検討されるようお願いする。2026年、地区から県への交流の推薦枠は従来の1/2に戻す。交流については舞台でのリハを短時間で行う案もありますので今後創造委員会で検討する。

◇2026年、長野祭典の開催時期に合わせて、県合唱発表会を9月12日・13日に尾張旭市文化会館で開催します。地区の合唱発表会は8月23日までに終了して下さい。

「日本のうたごえ祭典 in 神戸・ひょうご」まで後1週間 1年に1度の祭典で 全国の仲間と歌い交わそう！！

「日本のうたごえ祭典 in 神戸・ひょうご」が11月22日（土）から24日（祝月）に、下記のように兵庫県神戸市を中心に開催されます。ぜひお出かけください。

開催日	時間	分野	会場
11/22（土）	11:00～16:30	一般の部B	神戸新聞松方ホール
	11:00～17:00	交流の部I	ピフレホール
	11:00～15:00	女性の部	垂水レバンテホール
	11:00～17:00	オリジナルコンサート	産業振興センターハーバーホール
	16:45～20:10	日本満開 万響祭	神戸文化ホール大ホール
11/23（日）	10:30～17:30	一般の部A	神戸新聞松方ホール
	10:30～17:00	小編成の部	ピフレホール
	10:30～17:00	職場の部	垂水レバンテホール
	10:30～16:30	交流の部II	産業振興センターハーバーホール
	17:45～21:00	特別音楽会	神戸文化ホール大ホール
11/24（祝月）	13:45～17:03	大音楽会	ジーライオンアリーナコウベ

祭典で行われる全国合唱発表会・オリジナルコンサートには愛知の県合唱発表会から推薦された21団体、創作発表会7団体の計28団体と産別から推薦された4団体の合わせて32団体が出演します。愛知からの出演者を応援しましょう。

22日(土)				23日(日)			
分野	出演順	出演時間	団体名	分野	出演順	出演時間	団体名
一般の部B	17	13:48	合唱団みどり	一般の部A	9	10:49	Piacere!
	37	16:45	親と子のみどりの杜合唱団		11	11:05	長久手児童合唱団
	38	16:53	名古屋青年合唱団		15	11:37	合唱団西三河
女性の部	16	13:48	刈谷親バトコーラス		31	14:25	名古屋北部合唱団
	28	15:44	土古コーラスゆりかご		46	16:49	コール東海
交流の部I	18	14:12	「Pura Vida」広め隊		52	17:37	Ein Prosit!
	19	14:20	愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団	職場の部	3	10:01	愛知教職員合唱団きぼう
	21	14:52	樹音タルト		21	13:10	ケンちゃん&ゲンちゃん
オリジナルコンサート	6	11:25	うたごえ喫茶東山スカイホール		27	13:58	あいち保育のうたごえの仲間たち
	7	11:29	愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団	交流の部II	11	11:20	東海青年のうたごえ
	8	11:34	愛知教職員合唱団きぼう(Pura Vida)		12	11:28	名古屋青年合唱団うたの学校105期
	9	11:38	愛知教職員合唱団きぼう(街路樹を見上げて)		15	12:48	OH!人生男声合唱団
	10	11:45	親と子のみどりの杜合唱団		24	14:00	アンサンブルポラーノ
	11	11:51	みどりんコーラス		25	14:32	医療のうたごえ全国合同合唱団
	22	13:36	角ちゃんとゆかいな仲間たち	小編成	19	13:03	ハ童リバティバンド
	23	13:41	「広島の街で」を歌う合唱団		20	13:11	ハチばこリッシュ
	28	14:07	豊川親子合唱団たけのこ		40	16:15	タガリーズ
	42	15:42	あいち保育のうたごえの仲間				

2025日本のうたごえ祭典みんなうたう会

日時：11月22日（土）17:30（終演20:30）

会場：長田区文化センター別館（ピフレホール）
(地下鉄海岸線・JR「新長田」駅 南出口すぐ)

参加費：全席自由／1000円

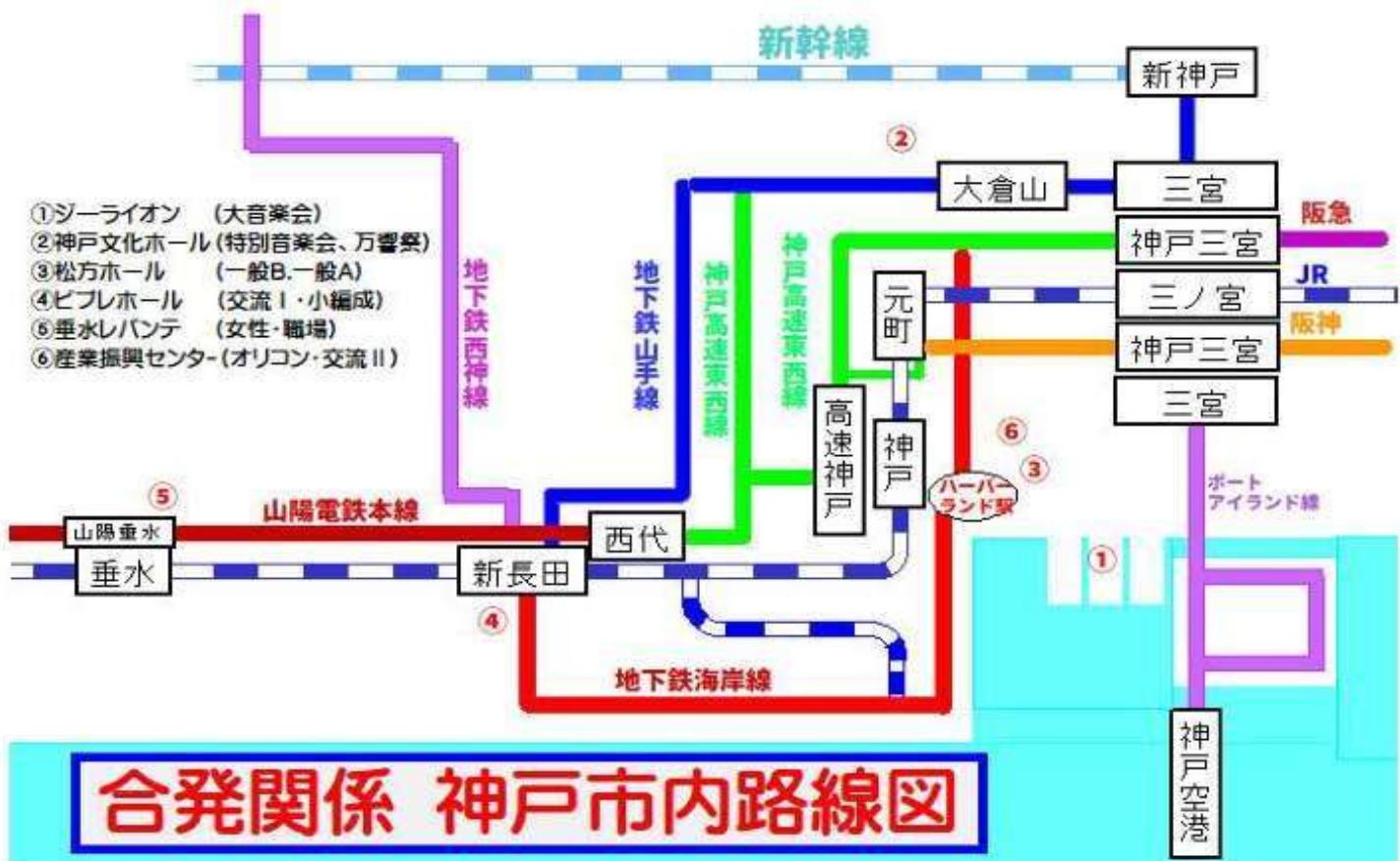
ゲスト：きたがわてつ



合唱発表会会場間移動所要時間

会場	最寄りの駅から	阪神線 神戸三宮駅から	神戸文化ホール	神戸新聞 松方ホール	ビフレホール	垂水レバンテ	産業振興 センター
神戸文化ホール	市営地下鉄 「大倉山」駅すぐ	地下鉄利用 14分 210円		15分	18分	36分	14分
神戸新聞 松方ホール	JR神戸駅から 徒歩10分	JR利用 17分 150円	徒歩		19分	33分	5分
ビフレホール	JR新長田駅から 徒歩9分	JR利用 21分 200円	240円	180円		22分	17分
垂水レバンテ	JR垂水駅から 徒歩3分	JR利用 27分 320円	240円	240円	200円		32分
産業振興 センター	JR神戸駅から 徒歩5分	阪神線利用 13分 140円	徒歩	徒歩	180円	240円	

土曜日 12時ごろの移動で試算



常任エッセイ

今の私の悩みは、合唱団の団員が少ないということです。一番ショックな出来事は、長年団員でいた方が認知症になり退団された事です。団員拡大では私達はどんな努力をしているかというと、年2回の「うたの広場」や「ボランティアフェスタ」でのパネル展示をしています。「うたの広場」は毎回70名位で行いますが拡大には繋がらない現状です。以前は定期コンサートや豊明市民フェスタとか「公民館まつり」に出演していましたので、それに比べると目立たない閉鎖的な活動しかやっていません。「公民館まつり」はコロナを期に無くなつたことをきっかけにやめたのですが、市民フェスタの方は大ホールでは私達の声が届かないのではという理由でやめましたが、団員が少ない合唱団も出場しているので、考え直す事も大事だと思います。

いのちをはぐくみ平和をねがう合唱団「ほっと・夜明け」間瀬滝子